

## 4.2

会員番号 : PE-0257 氏名 : 坂平 昌浩  
専門分野 : Mechanical (Mechanical Systems and Material)  
保有資格 : FE (オレゴン州)、PE (デラウェア州)



### 1. PE 試験から登録までの流れ

PE 試験から登録までの一連の流れを時系列で書くと以下になります。

2014年10月 : Mechanical 分野で PE 試験受験

2014年12月 : PE 試験合格

2015年3月 : JSPE 主催の登録セミナーに参加し、州登録への活動を本格的に開始

2015年3月～2015年11月 : 学歴審査対応 (英訳シラバス準備で試行錯誤)

2015年11月～2016年4月 : 学歴審査対応 (英訳シラバス関係で JSPE に相談、支援を依頼)

2016年2月 : PE 登録対応 (州登録のための Reference 依頼、業務経歴書の準備)

2016年4月 : 学歴審査申請

2016年5月 : 学歴審査通過

2016年6月 : PE 登録対応 (PE 登録に際して各種フォームの記入依頼、Affidavit 申請、登録申請)

2016年8月 : PE 登録完了

PE 登録には、3Es (Education, Experience, Examinations) が必要とされていますが、今回の体験記では、学歴審査対応 (Education) と PE 登録対応 (Experience) を中心にご紹介します。

### 2. 学歴審査対応

PE 試験合格後、JSPE 主催の登録セミナーに参加し、NCEES が行っている Credential Evaluation (学歴審査) の具体的な対応事例について説明いただきました。

学歴審査を通過するには、英文卒業証明書、英文成績証明書、そして英訳されたシラバスが必要になります。各種証明書は大学に依頼をすれば入手は難しくないのですが、英訳されたシラバスを準備するのに非常に苦労しました。何が一番大変かと申しますと、シラバスの英訳が Authorize されたものであることを示す必要がある点です。セミナーで説明を受けた当時は、英訳シラバスの Authorize の方法は大学に認めてもらうか、翻訳会社を通して訳してもらうかのどちらかしかなかった。大学の方に、自身が英訳したシラバスに対して Authorize してもらうか、もしくは大学の方でシラバス英訳してもらえないかと問い合わせたところ、どちらも不可能という回答が返ってきました。

次に私が試みた方法は、自身でシラバスの英訳をして翻訳会社に校正してもらったうえで彼らに Authorize してもらえないかというものでした。しかし、その方法での対応可否を翻訳会社に聞いてみましたが、不可能という回答をいただきました。そして、翻訳会社に依頼するべく見積もりを取ってみましたが、費用対効果にかなり疑問を感じ、結局依頼をしませんでした。

途方に暮れていたころ、PE 登録関係のセミナーが再度あったので、その場で私は JSPE に英訳シラバスに対して JSPE として Authorize ができないかという相談をしました。出身大学の違いで、大学に英訳シラバスを

Authorize してもらえると、そうでない人が出るのは不公平であると、JSPE に訴えました。（本人は英訳シラバスを Authorize してもらえるかどうかを基準で大学を選んだりもしないので、当然の話です。）

最初に参加した登録セミナーで、学歴審査のシラバス対応は個人で行うレベルをはるかに超えているという話もあったことから、JSPE としても支援が必要であるという判断をしていただきました。そして、私の学歴審査を事例として、JSPE としてシラバスの英訳を行い Authorize するといった、現在運営をしているシラバス支援サービスの前身となる試行がスタートしました。

その結果、JSPE 会員の方々の多大な協力により学歴審査に必要な英訳シラバスとシラバス英訳証明を発行していただきました。

このような形で英訳シラバスの準備を何とかクリアし、NCESS 学歴審査の申請をしました。申請後に必要書類を送付しますが、申請者自身が送付するのではなく書類を発行した大学もしくは機関が送ることになっています。私の場合は、大学からは卒業証明書、成績証明書（私の場合は、大学院分も出しました。）、サインおよびスタンプ入りの Transcript requests（ただし、フォーマット上で英訳シラバスの項は取り消し線等で消しておきました。）を厳封で送付してもらいました。また、JSPE からは英訳シラバス、シラバス英訳証明、サインおよびスタンプ入りの Transcript requests（ただし、フォーマット上で成績証明書&卒業証明書の項は取り消し線等で消しておきました。）を厳封で送付してもらいました。書類が受理されてから 1~2 週間もしないうちに審査通過の連絡が来て、無事に学歴審査をクリアすることが出来ました。

以下に、申請から審査通過に至るまでに、NCESS や大学と行ったやり取りを紹介します。

- NCESS より申請者自身からの英訳シラバスの発送はたとえ厳封されていても認められない、英訳に携わった機関が送付することと言われました。今回は、JSPE から直接 NCESS に送付してもらいました。
- 私の評価が完了した後で、NCESS に英訳シラバスの電子データの発送は可能かどうか参考に教えてくれと確認したところ、英訳シラバスの電子データ送付は OK と言われました。実際に、NCESS はハードコピー受領後スキャンをしているようですので、彼らとしても電子データはメリットがあるのかもしれませんが、NCESS サイドの担当者によっては判断が違うかもしれませんので、実際に電子データを送りたいのならば、申請者の方から「JSPE からシラバス英訳の資料を電子データで送ることは可能か？可能ならば、送付先の E-mail アドレスを教えてください。」などと問い合わせる必要があると思います。
- 原則、大学からの英訳シラバス同封発送の期待はできないと思っていた方がいいです。大学からは、卒業証明書、成績証明書に加えて、JSPE 作成の英訳シラバスとシラバス翻訳証明の厳封物を同封してほしいならば大学としてのサインはしないとされました。
- 学歴審査の申請画面では、担当者とのやり取りができますので不明点があれば積極的に聞いてもらえたらいいと思います。
- 学歴審査を申し込んだのち、半年アクションがないと Status が Inactive になってしまいますので注意してください。事情を話せば Inactive を解除してくれるケース（私の場合、そうでした。）もありますが、常にそうとは限りません。英訳シラバス準備は結構時間を要するので、それらのめどが立ってから学歴審査の申し込みをすることをお勧めします。

### 3. PE 登録対応

登録州ですが、私は以下の理由で Delaware 州を選びました。

- Web サイトで申請を進めることができ、非常に便利。
- Web サイトで効率化をしていることもあり、申請費用がリーズナブル。
- 自身が業務で携わっているのが北米東海岸ということもあり、東海岸側の州に登録がしたかった。

Delaware 州の PE 申請サイト、DELAWARE ASSOCIATION OF PROFESSIONAL ENGINEERS (DAPE)のサイトアドレスは、<https://www.dape.org/ProfessionalEngineers/register/>となります。

このサイトにアクセスすると、住所、名前、e-mail アドレスと各種情報を記載していきます。Social Security Number は年金番号を、Zip Code は"00000"と記載しました。途中で、Reference Information を記入するページが出てきますので、Referenceの方に承諾をいただいた上で記入を進めていきました。なお、私の場合は、社内 PE の方 3 名と自部署の部長、そして元上司の 5 名に Reference になっていただきました。また、業務経歴を記入する欄がありますが、私の場合は大学時代に何を専攻し、入社後にどのような業務に携わり、どのような成果を出して、どのような経験や知見を積み、そして次の業務でそれら得られたものをどのように生かしてきたかを説明しました。業務を通して、段階的に能力を向上させてきましたということアピールするよう心がけました。

他には Code of Ethics のテストを申請ページ上で受ける必要があります。合格するまで何回もやり直しができますが、それをクリアしないと次の申請ページに進めません。

そして、Affidavit を取得するという Delaware 州特有の要求があります。Delaware 州は Web サイトで申請を進められ、非常に便利ではありますが、そのままだと本人を確認する術がありません。そこで、米国大使館や米国領事館に出向き、Affidavit を取得し、そのスキャンデータを Web サイトから送ることで、本人確認の手段としています。私は関西在住ですが、大阪米国領事館の予約が取れなかったため、東京方面に出向いた時に時間を作って米国大使館で Affidavit を取得してきました。

これらの、一通りの記入やファイル添付等の完了後に 100 ドルを申請費用としてクレジットカードで支払い、PE 登録申請を行いました。

申請後は、各 Reference の方々に Delaware Board から質問メールが届きます。Web サイト上で、各 Reference に対する質問メールの送信、返信の有無の Status が確認できます。それ

を見ながら、各 Reference の方々にメールが届いているかどうかを確認しました。私の場合、1 名の Reference の方からの返信メールが Board に届いていないことが、Web サイト上の Status から判明し、本人に状況を確認しました。すると、Board から届いたメールにダイレクトに返信されていたとのことでした。その後、よく確認をしていただくとメールの本文中に返信先が書かれていることがわかり、そちらに再度送付してもらった上で、Reference の方全員の質問回答のメールが無事に Board に届きました。私の場合、2016 年 6 月 15

The image shows a screenshot of the 'Professional Engineer New Application' form. The 'Affidavit' section is highlighted, showing the applicant's name (Masahiro Sakahira), the date (Jun 15 2016), and the signature of the applicant and a Notary Public. The form also includes sections for Personal Information, Attach Picture, and Code of Ethics.

## Affidavit

日に登録申請を出し、同年 8 月 10 日付で、Delaware 州 PE としての登録が認可されました。認可後、自身の Engineering Seal を手配し、それを所定の用紙に押印して Delaware Board に発送しました。その後、Wallet Card という名の登録証が Web 上で発行されます。私の場合は、印刷してサイン後、再びスキャンしてそのデータを保管しています。



Engineering Seal



Wallet Card

#### 4. 最後に

PE 試験合格後から登録まで約 1 年 8 か月かかりました。PE 試験の時以上に、JSPE 会員の皆様をはじめとする関係者の方々の協力いただいたおかげで、無事に PE 登録をすることができました。私一人の力ではとてもではありませんが、たどり着けなかったと思います。PE 登録においては、学歴審査のクリアが一つの大きな壁になっております。私自身、シラバス支援サービスの運営スタッフとして、これから PE 登録を目指される皆様に支援させてもらうことで、少しでも恩返しをしていけたらと思います。

### 4.3

会員番号 : PE-0254 氏名 橋 金太郎  
専門分野 : プラント設計  
保有資格 : PE (テキサス州) Mechanical  
PE 登録日 : 2016 年 8 月 18 日



#### 1. はじめに

このたび PE 登録にあたり Reference を提供頂いた北林様、多田様、長谷川様、また登録にあたり様々なアドバイス頂いた川村会長、この場を借りて改めてお礼を申し上げます。

また登録にあたっては過去の体験記が非常に参考となりました、深津様、横山様、西牧様、小杉様、大波多様、安倍様、ありがとうございます。また体験記作成にあたり引用させていただきました。

#### 2. 概要

重工メーカーで化学プラントの機械設計エンジニアとして働いています。PE 試験は 2014 年 4 月に受験し、6 月に合格通知を受け取りました。その後登録作業をスタートするも登録州の選定調査や申請